

平成 27 年 度

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)

学 生 募 集 要 項

(一般選抜・社会人特別選抜)

香 川 大 学

○ 求める学生像

本学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）は、生命と人間の尊重を基盤とし、保健医療、福祉及び社会の諸変化に柔軟に対応できる人材を育成することを目的としています。具体的にはQOL（Quality of Life）の向上を重視した創造的、実践的な問題解決をなし得る能力を有し、国際的視野に立った看護学の発展と人々の健康に寄与する研究を遂行できる人材の育成を目指します。

そこで、医学系研究科看護学専攻（修士課程）では、以下のような大学院生を求めます。

- 1 意欲的かつ継続的に、人々のヘルスニーズを科学的に追及し研究しようとする人
- 2 チーム医療・トータルヘルスケアの推進に、積極的かつ協力的に取り組む人
- 3 国際的視野に立って、看護学の発展に寄与する研究を遂行しようとする人

○ 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の実施について

看護学研究は、看護実践上の問題をテーマとして行うことが重要であり、学部卒業後に臨床経験・実践経験を持つことは、看護学をより深く追求するために重要であります。

しかし、これら有職者が大学院に進学する場合には、その勤務を離れて修学することが必要となるため、大学院教育を受ける機会が制限されがちです。

このため、本学修士課程においては、大学院設置基準第14条「教育方法の特例」を適用し、これら有職者が離職することなく修学することが可能となるよう、昼間だけでなく夜間その他特定の時間又は時期に教育・研究指導を受けられるよう、開講します。

履修方法は、以下のとおりです。

- (1) 月曜日から金曜日までの18時30分から21時40分、土曜日及び夏季・冬季の休業期間中に開講される講義、演習、特別研究の授業を履修でき、研究指導も受けられます。
- (2) 履修計画については、指導教員のもとに作成します。

目 次

平成27年度香川大学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）学生募集要項

1	募集人員	1
2	募集分野	1
3	出願資格	1
(1)	一般選抜	1
(2)	社会人特別選抜	2
4	出願手続	3
(1)	出願受付期間	3
(2)	出願書類等の提出方法	3
(3)	出願書類等の提出先	3
(4)	出願に要する書類等	4
(5)	障害を有する入学志願者との事前相談について	5
5	選抜方法	6
(1)	選抜の方法	6
(2)	学力検査及び面接	6
(3)	試験場	6
6	合格者発表	6
7	入学手続	6
8	その他	7
	香川大学医学部案内図	8
	香川大学医学部施設・建物配置図	9

大学院案内

1	目的	10
2	組織構成	10
3	専攻並びに授業科目の概要及び担当教員等	10
4	履修方法等	18
5	学位の授与	18
6	別表（授業科目及び単位数）	19

平成 27 年 度

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)学生募集要項

1 募 集 人 員

看護学専攻 16人（「社会人特別選抜」による募集人員若干人を含む。）

2 募 集 分 野

基礎看護学（基礎看護学、看護医科学）、臨床看護学（成人看護学、小児看護学、母性看護学、老年・精神看護学）、地域看護学（地域看護学、在宅看護学）

※募集分野の概要は、大学院案内（10P～）を御参照下さい。

3 出 願 資 格

(1) 一 般 選 抜

次の各号のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者及び平成27年3月卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成27年3月までに短期大学又は高等専門学校の専攻科を修了見込みで、同法により学士の学位を授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成27年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成27年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成27年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成27年3月までに修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者及び平成27年3月までに指定した者に該当する見込みの者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- ⑧ 学校教育法第102条第2項に規定する者【注1】
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの

- ⑩ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力がある
と認められた者で、22歳に達したものと及び平成27年3月31日までに22歳に達するもの
〔短期大学、専修学校等を卒業後、看護学関係の教育・研究機関又は医療機関で一定期間教
育、研究、実務に従事された方は本項に該当します。〕

【注1】出願資格⑧に該当する者は、平成27年3月末現在において、大学に3年以上在学した者
(外国において学校教育における15年の課程を修了した者及び外国の学校が行う通信教育に
おける授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課
程を修了した者を含みます。)であって、本大学院が、所定の単位を優秀な成績で修得する
見込みと認められた者です。

(2) 社会人特別選抜

上記(1)の出願資格のいずれかを有し、かつ、次のいずれかに該当する者

- ① 出願時に看護の実務に就いている者
- ② 平成27年4月1日現在で、看護師、助産師、保健師又は養護教諭の資格を有し、3年以上の実務経験のある者

出願資格審査について

出願資格の⑧、⑨又は⑩に該当する方は、一般選抜、又は社会人特別選抜を問わず、事前審査が必要です。

綴じ込みの「出願資格調書：様式1」に下記の書類を添えて、平成26年6月27日(金)までに、本学へ提出して下さい。

○出願資格⑧に該当する者

- ・大学3年又は外国の学校教育における15年の課程修了(見込み)証明書
- ・成績証明書

○出願資格⑨に該当する者

- ・大学院の成績証明書

○出願資格⑩に該当する者

- ・最終学校の卒業証明書
- ・成績証明書
- ・入学資格個別審査調書(綴じ込みの「様式2」)

審査書類提出先

「4 出願手続」の(3) 出願書類等の提出先と同じ

審査結果について

出願資格審査の結果は、7月17日(木)付けで書面により本人に通知します。

この事前審査で出願資格が認められなかった場合には、出願することができません。

4 出 願 手 続

(1) 出願受付期間

平成26年7月28日（月）から8月1日（金）まで

(2) 出願書類等の提出方法

ア 直接持参する場合の受付は、9時から17時までとします。

イ 郵送による場合は、所定の出願用封筒を使用し、出願書類等を一括して封入のうえ「速達・簡易書留」とし、8月1日（金）17時までに必着するように発送してください。

(3) 出願書類等の提出先

〒761-0793 香川県木田郡三木町大字池戸1750-1
香川大学 医学部 学務室（入試担当）（医学部管理棟1階）

(4) 出願に要する書類等（※印は本学所定の用紙及び封筒）

一般選抜で出願する者は、次に掲げる1から8までの書類を、社会人特別選抜で出願する者は、1から10までの書類をそれぞれ取りそろえ、出願受付期間内に提出してください。

1	※入 学 志 願 票	本学所定の用紙に必要事項を記入したものを提出してください。
2	成 績 証 明 書	出身大学（学部）長が作成し、厳封したものを提出してください。ただし、本学医学部卒業（見込み）者は除く。
3	卒 業（見 込） 証 明 書	出身大学（学部）長が作成したものを提出してください。ただし、本学医学部卒業（見込み）者は除く。
4	検 定 料	30,000円 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>入学願書と一連の「振込依頼書（入金票）」及び「領収書」に必要事項を記入の上、平成26年7月18日（金）～平成26年8月1日（金）の間に金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く。）の窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず入学願書下部の「受付金融機関出納印」欄に押印を受けて下さい。（注）通常、金融機関の窓口取扱時間は、平日の15時までです。また、土日・祝日は休業となりますので、注意してください。</p> </div>
5	※受 験 票 ※写 真 票	出願以前6か月以内に撮影した正面向き上半身無帽の写真（縦4cm×横3cm）を受験票及び写真票の所定欄に貼付してください。 ※印以外の所定の欄は、すべて記入してください。
6	※受験票等送付用封筒	住所、氏名及び郵便番号を記入し、362円分の切手（速達料金）を貼付してください。
7	※あ て 名 票	本学所定の用紙に合格通知書を受け取る際の住所、氏名及び郵便番号を記入してください。
8	住 民 票 の 写 し （日本国籍を有しない者のみ）	日本国籍を有しない者は、市区町村長が発行する住民票の写しを提出してください。
9	研 究 計 画 書 （A4サイズで適宜の様式）	看護研究のテーマ、目的、動機（背景を含めた問題意識）、方法等についてまとめたもの。
10	免 許 証 の 写 し	看護師、保健師、助産師又は養護教諭の免許証の写し。（A4サイズに縮小してください。）

（注）入学願書の氏名と成績証明書・卒業（見込）証明書の氏名が異なる場合には戸籍抄本を添付してください。

(5) 障害を有する入学志願者との事前相談について

障害を有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。

相談の時期：平成26年6月27日（金）までとします。

相談の方法：申請書（様式自由、健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る者との面談等を行います。

連絡先：香川大学医学部 学務室 大学院・入学試験係

〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1

TEL 087-891-2074

なお、相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、出願前のできるだけ早い時期に、相談してください。

特に、下表に相当する障害がある者については、申し出がなかった場合、受験の際、障害等の状態に応じた対応ができなくなる場合もありますので十分注意してください。下表から判断できない場合は、お問い合わせ下さい。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のものうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由	・ 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ・ 肢体不自由の状態が上記に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	・ 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ・ 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

5 選 抜 方 法

(1) 選 抜 の 方 法

- ① 一 般 選 抜 学力検査（筆記試験・口頭試問）、面接の結果を総合して判定します。
- ② 社会人特別選抜 学力検査（筆記試験・口頭試問）、面接、研究計画書の審査の結果を総合して判定します。

(2) 学 力 検 査 及 び 面 接

月 日	時 間	実 施 項 目	備 考
8月21日（木）	10：00～12：00	英 語	筆記試験 ※辞書持ち込み可 （英和辞典のみとし、電子辞書は不可）
	13：00～	専門領域別試験	筆記試験又は口頭試問
		面 接	専門領域別に行います。

(3) 試 験 場

香川大学医学部 香川県木田郡三木町大字池戸1750-1

※試験場へ自動車での入構はできません。

6 合 格 者 発 表

9月18日（木）9時頃医学部構内（看護学科教育研究棟前）に掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。また、本学のホームページ上に合格者の受験番号を掲載します。（電話による照会には応じません。）

香川大学 URL：<http://www.kagawa-u.ac.jp/>

【注】：ホームページ掲載は、本学が情報提供の一環として行うものであり、公式の合格者発表は医学部キャンパス掲示板、合格通知書にて行います。

7 入 学 手 続

合格者は、平成27年3月26日（木）又は3月27日（金）に、入学手続を完了してください。入学手続場所は、香川大学研究交流棟〔幸町キャンパス（高松市幸町1番1号）内〕です。受付時間は、9時から17時までです。郵送する場合は、速達・簡易書留とし、3月27日（金）17時（必着）までに送付してください。所定の期間内に入学手続を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。

入学手続に必要なものは、次のとおりです。

- (1) 本学所定の誓約書、保証書 各1部
- (2) その他本研究科に必要な書類
- (3) 納付金

入 学 料	282,000円（予定）	【注】①
授 業 料	前期分 267,900円（予定）	
	（年額） 535,800円（予定）	

なお、入学時及び在学中に学生納付金が改定された場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

【注】① 前期分の授業料については、平成27年4月1日から平成27年4月30日までの間に納付してください。

また、希望により、前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

② 払込済の入学料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ・入学手続きを行わなかった場合
- ・入学料を誤って二重に払い込んだ場合

③ 入学手続きを完了した場合であっても、大学卒業見込みで出願した者、大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者が、平成27年3月31日までに卒業（修了）できなかった場合、学位を授与されなかった場合には、この入学手続きが無効になります。

④ 入学手続きを完了した後、何らかの事情で入学することができなくなった場合は、速やかに申し出て、入学辞退の手続きを行ってください。所定の入学辞退の手続きを行わない場合は、平成27年4月1日付で入学したことになり、授業料の債務（前期分）が発生しますのでご注意ください。

8 そ の 他

(1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。

(2) 出願書類受付後の書類の変更は認めません。また、いったん受理した出願書類は返還できません。

(3) 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

※上記①又は②に該当される方は、香川大学入試グループ(電話(087)832-1182)へご連絡ください。

(4) 出願にあたっては、事前に研究内容等を指導教員に必ず問い合わせてください。

(5) 病院・会社等に勤務しながら、入学する場合は、入学手続き時に「入学承諾書」（所定の用紙）を提出してください。

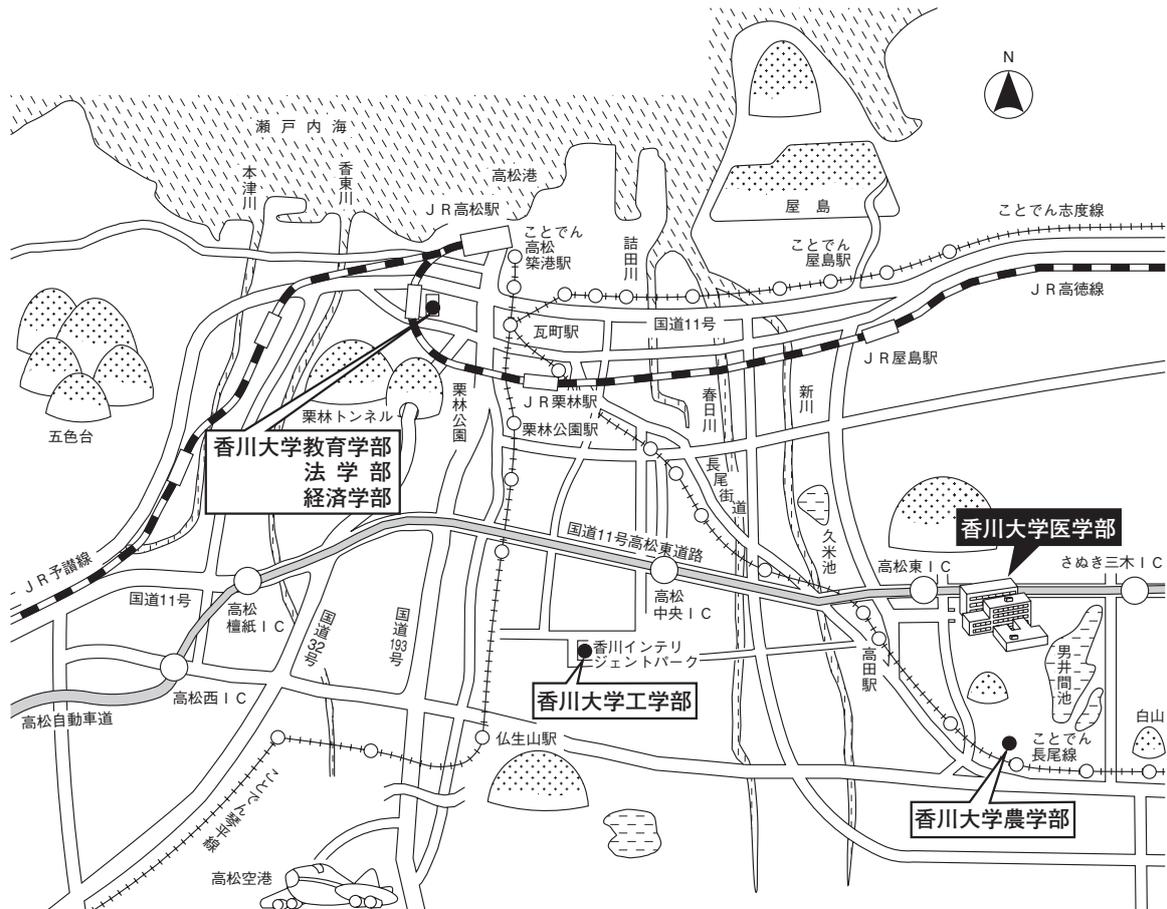
(6) 入学試験に関する照会は、下記あてに行ってください。

〒761-0793 香川県木田郡三木町大字池戸1750-1

香川大学 医学部 学務室（入試担当）

電話 (087) 891-2074

香川大学医学部案内図



電車とバス利用の場合 ことでん「高松築港」駅（JR「高松」駅から徒歩3分）から長尾線に乗車し、「高田」駅で下車。「高田」駅からバスで5分（ことでん「高松築港」駅から「高田」駅までの所要時間 電車約25分・料金350円、「高田」駅から医学部までの所要時間 バス約5分・料金160円、徒歩の場合 約25分）

バス利用の場合 JR「高松」駅前⑦番乗り場から「高松医療センター・大学病院線」に乗車（所要時間約45分・料金620円）

タクシー利用の場合 JR「高松」駅からの所要時間約30分（約4,000円）

航空機利用の場合 高松空港から医学部までの直通的交通機関はありません。

リムジンバスで高松築港まで所要時間約40分（750円）

医学部までタクシー利用の場合は所要時間約40分（約5,000円）

（時刻表）平成26年4月1日現在

電車（長尾線）		バス（高松医療センター・大学病院線）	
高松築港駅発	ことでん高田駅着	ことでん高田駅発	大学病院着
7:07	7:33		
7:32	7:57	8:15	8:20
7:54	8:21		
8:20	8:45	9:00	9:08
8:43	9:09		
9:07	9:31	9:40	9:48
9:28	9:52		

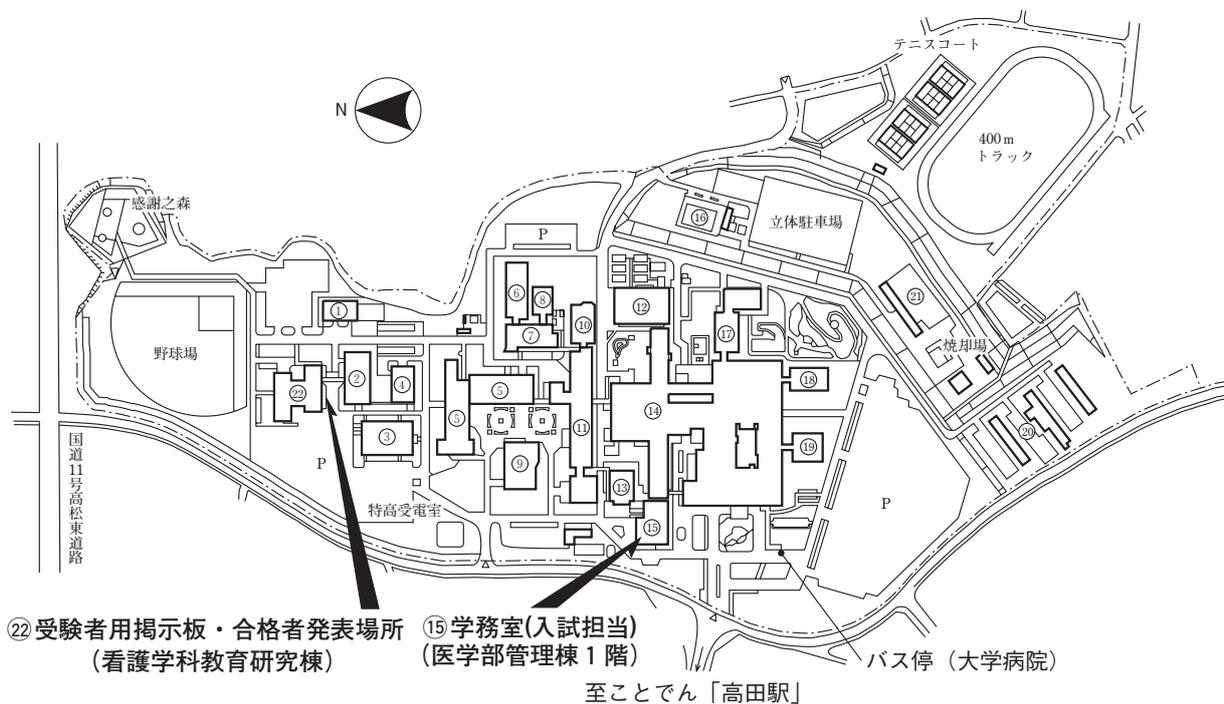
バス（高松医療センター・大学病院線）		
JR高松駅発	瓦町駅発	大学病院着
6:35	6:45	7:15
7:20	7:30	8:07
8:00	8:10	8:50
8:40	8:50	9:30

高松琴平電気鉄道
(087) 831-6008

ことでんバス
(087) 821-3033

（注）時刻表及び料金については、変更される場合がありますので、利用する場合には、あらかじめ各自で確認しておいてください。

香川大学医学部施設・建物配置図



配置図番号	名 称	配置図番号	名 称
①	武 道 館	⑫	中 央 機 械 室
②	医 学 部 会 館	⑬	臨 床 講 義 棟
③	体 育 館	⑭	附 属 病 院
④	食 堂	⑮	医 学 部 管 理 棟
⑤	講 義 実 習 棟	⑯	水 泳 プ ー ル
⑥	動 物 実 験 部 門	⑰	R I 診 療 施 設
⑦	R I ・ 動 物 実 験 部 門	⑱	高 エ ネ ル ギ ー 施 設
⑧	放 射 性 同 位 元 素 実 験 部 門	⑲	M R I - C T 装 置 棟
⑨	図 書 館 医 学 部 分 館	⑳	看 護 師 宿 舎
⑩	院 生 研 究 棟	㉑	廃 水 処 理 施 設
⑪	基 礎 臨 床 研 究 棟	㉒	看 護 学 科 教 育 研 究 棟

大 学 院 案 内

1 目 的

本学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）は、生命と人間の尊重を基盤とし、保健・医療、福祉及び社会の諸変化に柔軟に対応できるとともに、QOL（Quality of Life）を指向した創造的、実践的な問題解決をなし得る科学的技術と知識を有する人材を育成し、看護学の発展と人々の健康に寄与することを目的としています。

2 組織構成

本学の大学院医学系研究科は、医学部医学科を基盤とした博士課程（3専攻）と医学部看護学科を基盤とした修士課程（看護学専攻）が設置されています。

看護学専攻（修士課程）は、基礎教育課程での教育研究を基盤とし、大学全体で蓄積した教育研究資源と大学が立地する地域を活用した教育研究を基盤として、看護学の専門性を深めるために、3分野（基礎看護学、臨床看護学、地域看護学）を設置しています。

それぞれの分野においては、社会を取り巻く環境の変化に柔軟に対応し、加速度的に多様化し、変化するヘルスニーズを科学的に追求・予測し、必要な対策を講じられるような看護学に関する高度な専門的知識と技術の修得を目指し、高度職業実践者及び看護教育・研究者を育成できるようカリキュラムを編成しています。

看護学専攻（修士課程）の分野及び専門領域

分 野	専 門 領 域	指 導 教 員
基 礎 看 護 学	基 礎 看 護 学	名越 民江
	看 護 医 科 学	峠 哲男、藤井 豊
臨 床 看 護 学	成 人 看 護 学	當日 雅代、清水 裕子
	小 児 看 護 学	谷本 公重
	母 性 看 護 学	佐々木睦子
	老 年・精 神 看 護 学	大森美津子
地 域 看 護 学	地 域 看 護 学	大西美智恵、渡邊 久美
	在 宅 看 護 学	松井 妙子

3 専攻並びに授業科目の概要及び担当教員等

(1) 基礎看護学分野

基礎看護学、看護医科学の領域について教育を行います。最今、Evidence-based Nursing(EBN)が提唱され、看護の知識や技術に関する科学的な実証が不可欠となっています。基礎看護学分野ではEBNの実践に必要な知識や技術の習得を目指します。

① 基礎看護学

基礎看護学分野では人間・環境・健康とのかかわりの中で看護を科学的に探究するとともに看

護に関する問題を検証し、課題の明確化を行います。さらには、対象の安全性と安楽性を科学的に実証した看護技術の実践への活用方法について理解を深めます。

基礎看護学演習及び特別研究は、演習、研究を行います。

② 看護医科学

看護医科学領域においては、看護や介護における医学的な疑問点を、科学的に探求し、その原因や解決法を見いだすための研究を行います。具体的にはアンケート調査や実験研究を中心とした講義、演習、研究を行います。

授 業 科 目	授 業 科 目 の 概 要	担 当 教 員
基礎看護学特論Ⅰ	あらゆる健康のレベルにある人間の全体像を深く理解するとともに自己の実践を振り返って客観視する。さらに科学的に裏づけされた看護技術をもとに、実践で活用し得る方法論について教授します。	名越 民江 南 妙子
基礎看護学特論Ⅱ	看護を取り巻く環境の変化や社会の生涯学習化に焦点をあて、これからの看護および看護職者の進むべき方向について、問題点及び課題を講義します。それに加え、看護技術を科学的に実証し、看護実践および研究に活用可能な技術及びその知識について教授します。	名越 民江 南 妙子
基礎看護学演習	看護の構成要素間の相互関連を論述した文献、日常生活行動、生活の援助又は診療の介助技術に関わる文献、看護場面を記述・分析した文献等を通して、看護実践の活用の適否及び妥当性について討議します。	名越 民江 南 妙子
基礎看護学特別研究	基礎看護学に関連する研究課題を設定し、自らが研究計画の企画・立案、データ収集および分析ができるよう、それぞれの過去について討議し研究論文を作成するよう指導します。	名越 民江 南 妙子
看護医科学特論Ⅰ	看護に関する医学的問題点を探求するために必要な基礎知識として、人体、特に血液、神経、消化器の構造と生理的機能と、それら器官の障害に起因する疾病の病態生理や病理、さらには生化学や分子生物学の知識を習得します。	峠 哲男 藤井 豊 筒井 邦彦
看護医科学特論Ⅱ	過去の研究成果を基に、研究の背景と研究計画の立て方や研究方法の実際、研究結果の解釈の仕方について教授します。具体的には脳波や脳磁気刺激法を用いた脳機能の解析方法や臨床的応用、血液培養による免疫機能の解析や感染症予防の対策などです。これらの講義を通して各研究分野の現状や問題点を理解します。	峠 哲男 藤井 豊 筒井 邦彦
看護医科学演習	看護に関連する医学的論文をインターネットで検索する能力、さらには論文を読解して論文の要旨を述べる能力、研究計画の立て方、研究の進め方や解析方法及び研究結果に対する考察の仕方を習得し、研究計画書や修士論文作成に必要な基礎的知識を習得します。	峠 哲男 藤井 豊 筒井 邦彦
看護医科学特別研究	疫学調査やアンケート調査による量的解析法を用いた研究、人体機能の生理学的計測や実験的介入試験による実証研究、血液学的及び微生物学的方法を用いた感染予防・制御、清潔保持に関する研究などを指導し、最終的に修士論文の作成を行います。	峠 哲男 藤井 豊 筒井 邦彦

(2) 臨床看護学分野

成人看護学、小児看護学及び母性看護学の領域について教育を行います。学部教育で得られた知識、技術及び深い倫理観を持って、さらに複雑な患者の状態、患者を取り巻く環境を客観的に分析、検討し、理論と実践の関係を学習します。

① 成人看護学

がん、生活習慣病および手術を受ける患者とその家族に関する看護理論と実践の関係を学習します。また、成人看護領域で最新の看護ケアに関する研究論文又は文献を分析、検討し、既存理論の実践への応用についてクリティックします。さらに、研究結果から、新しい理論の構築を試みます。

② 小児看護学

現代社会における小児と家族の様々な問題について、関連する学問分野の理論を学び、さらに母子保健・小児保健・学校保健・身体障害児対策などの視点により小児看護を検討します。また、小児と家族に関する国内外の文献及び研究論文をクリティックし、各自の研究課題にそった研究能力と臨床での専門看護能力を養います。

③ 母性看護学

生涯を通じた女性のリプロダクティブヘルス／ライツの視座から、生理的、心理・社会的な健康問題や課題を、チュートリアル形式で、女性のウエルネスを考慮して教授します。さらに、子どもを産み育てる女性のメンタルヘルスケアの本質を探求します。

④ 老年・精神看護学

人間をホリスティックに捉える姿勢や態度を身につけ、老年看護や精神看護の対象が、体験している世界に近づく能力を養います。また、疾患や障害の発症を人生の中の転機として捉え、それを自らの人生の中で意味づけ、全体的な存在として機能し、発達するための援助を探求します。演習や研究を通して、自らの研究課題を明らかにし、一連の研究過程を体験します。

授 業 科 目	授 業 科 目 の 概 要	担 当 教 員
成人看護学特論Ⅰ	成人期によく見られる病的状態、又は疾患（生活習慣病、高血圧、糖尿病、腎疾患、がん又は関節炎患者などの）をもつ患者の急性期、慢性期・回復期、及びターミナル期における状況（個体及び細胞のレベル）を理解し、それらに応じた看護ケアの指針となる看護理論及び研究論文の分析・批評を基に、各健康レベルの看護実践に有用な理論を探求します。	清水 裕子
成人看護学特論Ⅱ	成人期患者の看護ケア実践に関する新しい理論を生み出すことを目的に、成人看護に使える理論構築の方法、研究デザインの作成法について学びます。	當日 雅代
成人看護学演習	成人患者の各健康レベル別における夫々の対象に応じた看護に係る研究論文の検索、及びその考察などについて学ぶとともに、成人看護実践のあり方について、国内外の文献や事例及び臨床の現場を用いての、論文作成のための演習を行います。	清水 裕子 當日 雅代
成人看護学特別研究	選択された研究テーマに係る慢性期、ターミナル期、急性期にある成人看護の対象やその家族に適した、看護のあり方を考察します。文献の検討及び理論の構築を行なうなどの研究を展開できる能力を養い、修士論文として、研究の実際をまとめ、発表します。	當日 雅代 清水 裕子
小児看護学特論Ⅰ	小児の健やかな心身の発達について、人間生態学的観点から追究し、健康問題を生態因子と個体の相関から全体的に理解させ、看護学の視点からその援助方法及び理論について教授します。	谷本 公重
小児看護学特論Ⅱ	健康状態の変化による小児の心身の状態について、全体像を理解させ看護学の視点からその援助方法と理論について教授します。	谷本 公重
小児看護学演習	小児の健康問題の援助に関して、内外の文献や事例を基に討議し、看護学上の問題を明らかにしてそのアプローチの仕方を検討します。	谷本 公重
小児看護学特別研究	小児の健康増進あるいは疾病からの回復・苦痛の緩和に必要な生活上の問題を抽出し、看護学の視点からその課題を明確にした上で、研究指導を行い、修士論文を作成するよう指導します。	谷本 公重

母性看護学特論Ⅰ	リプロダクティブヘルス／ライツに関する歴史的背景をふまえて、母性看護学の視点から、今日的課題の生殖医療における倫理と女性の人権を守る視座で、女性のエンパワーメントを高める健康支援の課題を明確にし、その方略を追求します。	佐々木睦子
母性看護学特論Ⅱ	生涯を通じた女性の健康支援に向けて、母性看護に関連する学問分野からの知識に依拠して、子どもを産み育てるケアの本質を追究する方法と理論を教授します。さらに、女性の健康に関わる施策に関する調査研究をクリティカルに分析して女性のウェルネスを考慮した看護技術とケアシステムの確立について教授します。	佐々木睦子
母性看護学演習	母性看護学における自己の関心課題を中心に、文献検討を通して研究的感性を培います。そこから、自己の研究課題を明確にできるよう事例を用いて母性看護学上の問題や課題を討議し修士論文作成を容易にします。	佐々木睦子
母性看護学特別研究	女性のリプロダクティブヘルス／ライツの向上に必要な生理的、心理・社会的な問題や課題を抽出し、母性看護学の視点からその問題や課題を明確にした上で研究指導を行い、妥当性と信頼性に基づいた斬新な修士論文を作成するよう指導します。	佐々木睦子
老年・精神看護学特論Ⅰ	人間をホリスティックに捉える姿勢や態度を身につけ、老年看護や精神看護の対象が、心身の病いに伴う体験とその体験を受けとめ、成長発達するプロセスを理解するための理論や対象のQOLを高める最新の治療の考え方を学びます。	大森美津子 渡邊 久美
老年・精神看護学特論Ⅱ	人間をホリスティックに捉える姿勢や態度を身につけ、老年看護や精神看護の対象が、疾患や障害の発症を人生の転機として捉え、それを自らの人生の中で意味づけ、全体的な存在として機能し、発達するように援助するための理論を学びます。	大森美津子 渡邊 久美
老年・精神看護学演習	老年看護・精神看護の領域で、看護を行っている場面に入り、これまでに学んだ理論を用いて現象を理解し、研究課題を探求します。さらに、明らかになった研究課題に沿って文献検討を行い、研究計画書を作成します。	大森美津子 渡邊 久美
老年・精神看護学特別研究	老年看護や精神看護の課題を見出し、その課題を明らかにするための適切な研究方法を選択し、一連の研究過程を体験します。研究を通して、対象を生涯発達の観点からより深く理解すると共に、自己の課題に気づき向かい合います。	大森美津子 渡邊 久美

(3) 地域看護学分野

地域で生活する住民のニーズに基づき、地域保健活動が効果的に実施できるよう、多様な理論を実践に適用し評価する能力を習得します。また、地域におけるケアシステム構築に向けてのあり方について理解を深めます。

① 地域看護学

日々の地域保健活動の中から生まれる研究疑問を明確にし、研究テーマとして取り上げ、研究プロセスに沿って研究を進め、得られた結果を実践に活かすことができる基礎的能力を修得します。

② 在宅看護学

在宅看護に関連する理論モデルを学習し、在宅で暮らしている人々がより良い健康を保ち、その人らしい生活を送ることができるよう支援する能力を養います。在宅看護に関連する諸制度と在宅ケアシステムを理解し、多様な職種と共に在宅療養者を支援するために、より適切で効果的な看護を探究します。演習や研究を通して、在宅看護に関する研究課題を見出し、研究計画を立て、自身の研究課題に沿った研究過程を体験します。

授 業 科 目	授 業 科 目 の 概 要	担 当 教 員
地域看護学特論Ⅰ	地域保健活動では、住民のニーズに基づく住民主体の保健活動が求められます。地域の人々の健康ニーズの把握・アセスメント・保健活動の計画立案・実践・評価の過程を学習するとともに、住民と協働する保健活動のあり方を教授します。併せて、現代社会特有の健康課題への取り組みについても言及します。	大西美智恵 越田美穂子
地域看護学特論Ⅱ	エビデンスに基づく地域保健活動に必要な研究の基礎知識やスキルについて理解を深めます。また、生活者としての人間を理解するために、学際的な視野を醸成し、健康・生活に関する様々な価値観についても考察します。さらに、誰にとっても暮らしやすい地域ケアシステム構築に果たす地域看護の役割や課題についても検討します。	大西美智恵 越田美穂子
地域看護学演習	個人・家族または集団および地域の健康維持・増進のための諸理論・モデルを理解し、それに基づいた地域看護の実践方法を、具体的な事例および研究論文の分析をとおして修得します。また、地域看護学の研究能力向上のために研修会や学会に参加し、研究を具現化する方法について学びます。	大西美智恵 越田美穂子
地域看護学特別研究	地域看護学領域の実践活動の中から研究課題を選択し、研究プロセスに沿い修士論文を作成します。	大西美智恵 越田美穂子

授 業 科 目	授 業 科 目 の 概 要	担 当 教 員
在宅看護学特論Ⅰ	在宅看護学・家族看護学に関する歴史、諸理論、制度を教授し、在宅で暮らしている人々がより良い健康を保ち、その人らしく療養生活を送ることができるよう支援するための看護を探求します。	松井 妙子
在宅看護学特論Ⅱ	在宅看護学領域の論文の抄読とクリティークを通して、在宅看護学研究の視点を養い、在宅看護学を発展させるための課題を明確にします。	松井 妙子
在宅看護学演習	学生の興味に沿って、在宅看護学領域の論文を読み、研究課題を明確にし、その研究課題に沿って文献検討を行い、研究計画書を作成することを支援します。	松井 妙子
在宅看護学特別研究	学生が在宅看護学の発展に必要な課題に気づき、その課題を明らかにするための研究方法を見出し、一連の研究過程を体験し、修士論文を作成することを支援します。	松井 妙子

(4) 共 通 科 目

本学の目指す高度職業実践者として必要なケア実践能力、管理的能力及び看護を提供する場を改革するための研究方法に関する能力を修得するために、共通科目を開設しています。各分野の授業科目と併せて学習することにより、効果的な教育が期待できます。

授 業 科 目	授 業 科 目 の 概 要	担 当 教 員
看護倫理学	医療や看護の場で生じやすい倫理的問題に対して、人々の健康や生活の権利を擁護する責任をになう看護の立場から、倫理原則、倫理的権利、医療者の倫理的義務と責任および倫理的忠誠について学びます。さらに医療および看護ケアの質の向上を目指すことを目的に、人間の各ライフステージで生じる倫理的問題に対する倫理的判断と倫理的意思決定について検討します。	大森美津子 谷本 公重 渡邊 久美

看護研究方法特論	<p>看護ケアの実践の指針となる看護理論及び看護学体系の確立のために必要な看護研究の方法には、量的に取り扱うものと質的に取り扱うものがあります。</p> <p>看護ケアの対象は、「人間の健康上の反応」であるので、研究内容は、生理学的、心理学的、人文社会学的及び現象学的等、幅広いものとなっています。研究方法としては、量的研究として、実験研究、準実験研究、社会学的調査(アンケート調査、インタビュー等)、質的研究としては、文化人類学的なフィールドワーク、歴史的研究及び事例研究等があり、それらの事例をあげて教授します。</p>	大西美智恵 真鍋 芳樹 當目 雅代 越田美穂子
看護教育学	<p>看護教育に関する文献を基に、これからの看護教育の発展の方向性及び在り方について教授します。</p>	清水 裕子 名越 民江 松井 妙子
看護管理学	<p>看護を取り巻く制度上の変化及び実践現場における現状から、効果的・効率的な看護管理の在り方を探求できるように教授します。</p>	名越 民江 佐々木睦子
臨床科学	<p>ケアリングに必要な医学的臨床知識について、種々の疾患に対する病態生理、診断、治療の知識及び技術を診断別の事例を基に講義します。また、各事例に関する薬理の特性と生体反応の知識を教授します。</p>	峠 哲男 藤井 豊 筒井 邦彦
国際看護学特論	<p>異なる文化の中における看護の多様性と普遍性について、文献や事例、実際の国際看護活動・保健活動などから考察し、国際看護学の目的論、対象論、および方法論の構築を試みます。</p>	清水 裕子
看護研究特論	<p>看護研究を行う上での幅広い基礎知識と実践技術を養成する目的で、各学生の専門領域以外の領域を含む各研究分野に精通する講師を招聘して、講義および演習を行います。</p>	大学院担当教員
看護学セミナー	<p>看護研究を行うための幅広い基礎知識を養成するうえで、より実践的な知識や技術を習得することを目的としてこのセミナーを開講します。実際には、現役で看護および介護職に従事している学内および外部講師による講義を行います。</p>	大学院担当教員

(5) そ の 他

各分野の担当教員については、変更することがあります。

4 履修方法等

- (1) 修業年限は、2年を標準とします。

長期履修学生制度について

職業等を有している等の事情による者は、2年の修業年限の教育課程を、3年にわたり計画的に履修することができます。この場合2年間に支払うべき授業料総額を3年間に分割して支払うことになります。

この制度を利用する場合、入学前年度の1月末または1年次の1月末までに長期履修学生の申請をし、許可を受ける必要があります。

詳細についての問い合わせ・申請用紙の請求は下記までご連絡ください。

医学部総務課学務室 大学院担当電話番号 087-891-2075 (ダイヤルイン)

メールアドレス daigakuin@med.kagawa-u.ac.jp

- (2) 共通科目8単位、専門領域18単位及び主領域以外の特論及び共通科目（共通科目として修得する4科目8単位を除く）の中から4単位以上、合計30単位以上を履修するものとします。

- (3) 看護学専攻における授業科目及び単位数は、別表に掲げるとおりです。

5 学位の授与

- (1) 学位は、修士（看護学）とします。

- (2) 修士の学位は、大学院（修士課程）に2年以上在学し、授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に授与します。ただし、特に優れた研究業績を上げた者については、上記在学期間を1年以上とすることがあります。

6 別表（授業科目及び単位数）

分野	専門領域	授 業 科 目	単 位 数
基礎看護学	基礎看護学	基礎看護学特論Ⅰ	2
		基礎看護学特論Ⅱ	2
		基礎看護学演習	4
		基礎看護学特別研究	10
	看護医科学	看護医科学特論Ⅰ	2
		看護医科学特論Ⅱ	2
		看護医科学演習	4
		看護医科学特別研究	10
臨床看護学	成人看護学	成人看護学特論Ⅰ	2
		成人看護学特論Ⅱ	2
		成人看護学演習	4
		成人看護学特別研究	10
	小児看護学	小児看護学特論Ⅰ	2
		小児看護学特論Ⅱ	2
		小児看護学演習	4
		小児看護学特別研究	10
	母性看護学	母性看護学特論Ⅰ	2
		母性看護学特論Ⅱ	2
		母性看護学演習	4
		母性看護学特別研究	10
	老年・精神看護学	老年・精神看護学特論Ⅰ	2
		老年・精神看護学特論Ⅱ	2
		老年・精神看護学演習	4
		老年・精神看護学特別研究	10
地域看護学	地域看護学	地域看護学特論Ⅰ	2
		地域看護学特論Ⅱ	2
		地域看護学演習	4
		地域看護学特別研究	10
	在宅看護学	在宅看護学特論Ⅰ	2
		在宅看護学特論Ⅱ	2
		在宅看護学演習	4
		在宅看護学特別研究	10
共通科目		看護倫理学	2
		看護研究方法特論	2
		看護教育学	2
		看護管理学	2
		臨床科学	2
		国際看護学特論	2
		看護研究特論	1
		看護学セミナー	1

平成27年度香川大学大学院医学系研究科 看護学専攻（修士課程）入学志願票

1 一般選抜		2 社会人特別選抜		受験番号	※	
(上記のいずれかを選択し、番号に○を付けてください。)						
フリガナ				性 別	男 ・ 女	
氏 名						
生年月日	昭和・平成	年	月	日生	年齢	歳
志望する分野・専門領域及び指導教員	分 野		指導教員			
	専門領域					
出願資格	年 月		大学	学部	学科	卒業(修了) 卒業見込み(修了見込み) 年在学中
	(学校教育法第104条第4項の規定による学士の学位授与年月日： 年 月 日)					
免許・資格	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別
	取得年月	取得年月	取得年月	取得年月	取得年月	取得年月
	番 号	番 号	番 号	番 号	番 号	番 号
フリガナ	〒					
現住所						
	電話番号	()	-			
フリガナ	〒					
試験・入学等に関する通知場所						
	電話番号	()	-			

記入上の注意

- 青又は黒のインクを使用し、楷書で記入してください。
- 現住所は詳細に記入してください（間借等の場合は何某方まで記入してください）。
- 履歴事項は裏面に記入してください。
- ※印欄は記入しないでください。

* 出願書類に記載された個人情報(氏名、生年月日、性別その他の個人情報)は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続きを行うために利用します。また同個人情報は、合格者の入学後の教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(健康管理、奨学金申請等)及び入学料・授業料に関する業務を行う目的をもって本学が管理します。

区 分 コード	3471	0
------------	------	---

受付金融機関出納印	1
-----------	---

※金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行を除く。)の出納印のない場合は無効となります。

平成27年度 一般選抜
 社会人特別選抜

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)

受験票

受験番号	※
フリガナ 氏 名	男・女
志望する 専門領域	

写真貼付欄
(注意)
出願以前6か月以内に撮影した正面向き上半身無帽の写真(縦4cm×横3cm)を貼付してください。

- (注) 1 ※印欄は記入しないでください。
2 この受験票は机上左上に提示しておいてください。
3 この受験票を紛失した場合は、直ちに届け出てください。

平成27年度 一般選抜
 社会人特別選抜

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)

写真票

受験番号	※
フリガナ 氏 名	男・女
志望する 専門領域	

写真貼付欄
(注意)
出願以前6か月以内に撮影した正面向き上半身無帽の写真(縦4cm×横3cm)を貼付してください。

- (注) ※印欄は記入しないでください。

香川大学

金融機関で切り離してください。

受験者保管用(大切に保管してください。)
(受付金融機関→依頼人)

電信扱
香川大学

2015年度
検定料 領収書

振込金額(検定料)	¥ 3,000.00	手数料	
振込先銀行(○で囲む。)	預金種別	口座番号	
① 百十四銀行 本店	普通預金	2785280	
② 香川銀行 本店	普通預金	2155989	
③ 三菱東京UFJ銀行 高松中央支店	普通預金	0547300	

受 取 人 国立大学法人香川大学
区分コード 3471 0

フリガナ
志願者氏名
NAME

- 金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行を除く。)の出納印のない場合は無効となります。
- 金額を訂正したもの、鉛筆書きをしたものは無効となります。

受付金融機関出納印	2
-----------	---

香川大学
検定料 振込依頼書(入金票)
(受付金融機関保管用)

電信扱
香川大学

【志願者の方へお願い】
1. 郵便局・ゆうちょ銀行を除く金融機関から振り込んでください(ATMからの振込は不可)。
2. 金額を訂正したもの、鉛筆書きをしたもの、金融機関の出納印のないものは無効となります。

依頼日	年 月 日	振込受付期間	平成26年7月18日(金)~平成26年8月1日(金)
振込先銀行(○で囲む。)	預金種別	口座番号	千 百 十 万 千 百 十 円
① 百十四銀行 本店	普通預金	2785280	金額 ¥ 3,000.00
② 香川銀行 本店	普通預金	2155989	
③ 三菱東京UFJ銀行 高松中央支店	普通預金	0547300	

受 取 人 コクリツダイガクホウジンカガワダイガク
国立大学法人香川大学
内 訳 現金 当手 他手

受付金融機関へ→この部分を必ず打電してください
区分コード 3471 0 志願者のフリガナ

依頼人(志願者)	志願者氏名 NAME	〒 -
	志願者住所 ADDRESS	
	電話 () -	

← 受付金融機関へのお願
打電については、依頼人名の前に
区分コードを打電してください。

受付金融機関出納印	3
-----------	---

金融機関で切り離してください。

金融機関で切り離してください。

入 学 承 諾 書

平成 年 月 日

香川大学大学院医学系研究科長 殿

所属(長)職名

氏 名

⑩

下記の者が、香川大学大学院医学系研究科（修士課程）に入学した場合は、大学院設置基準第14条（※）特例の適用により、在職したまま在学することを認めます。

記

(入学予定者)

所属・職名

氏 名

(※) 大学院設置基準第14条

「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる」

出願資格調書

フリガナ				性別	男・女	
氏名						
生年月日	昭和・平成	年	月	日生	年齢	歳
志望する分野・専門領域及び指導教員	分野		指導教員			
	専門領域					
出願資格 1 第⑧号によるもの 2 第⑨号によるもの 3 第⑩号によるもの 該当する項の番号に○をしてください	昭和 平成	年	月	日	年在学中 卒業（修了）	
履歴事項 （学歴：日本の高等学校卒業者については高等学校卒業からの学歴を、それ以外の者はすべての学歴を記入してください。） （職歴：特に看護学研究を志す動機となったものを記入してください。）	区分	年	月	日	事項	
	学歴	年	月	日		
		年	月	日		
		年	月	日		
		年	月	日		
	職歴	年	月	日		
		年	月	日		
		年	月	日		
		年	月	日		
		年	月	日		
現住所	〒					
	電話番号	() -				

入学資格個別審査調書

1 氏 名

2 生年月日

3 免許・資格

4 研究業績目録を作成してください。申請者の名前には下線を引いてください。また、主な論文 2 編については別刷又はコピーを添付してください。

注 1) 適宜の様式 (A 4 サイズ) で別途作成してもかまいません。

2) 業績目録の作成方法

著書 [題名, 著者名 (全員を記入), 編者名, 書名, 版, 発行場所, 発行所, 発行年, 頁の順に記入してください。]

論文 [題名, 著者名 (全員を記入), 誌名, 巻, 発行年, 頁の順に記入してください。]

あ て 名 票

- (注) 1 合格通知，入学手続書類等及び入学式等に関する通知用です
ので，確実な受信先を記入してください。
- 2 住所は必ず番地まで正確に記入してください。
- 3 住所がアパート，団地の場合は，必ずアパート名又は団地名
まで記入してください。
- 4 ※印欄は記入しないでください。
- 5 出願書類等と一緒に提出してください。

合格通知を受け取る宛先を記入してください。

<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
(住所)

(志願者の氏名)
様

(電話番号)

(受験番号) ※

平成27年2月上旬頃に入学手続き書類等を受け取る宛先を記入してください。

<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
(住所)

(志願者の氏名)
様

(電話番号)

(受験番号) ※
